



ひとつ隣の世界から。



さとまる

箱庭宇宙キット

画期的な環境育成玩具、「箱庭宇宙キット」が売れている。

特殊ケースの中で本物のミニチュア銀河を育てられるのだ。

生まれては消えていく星々を眺めているだけでも充分楽しめるが、さらに、その星に誕生した生命の進化に干渉することすらできるようになっている。神の気分を味わえるところが人気の理由だ。

早速入手した私も夢中になった。スコープを覗き、次々と星を作ってはその上でいろいろな生物を発生させたり滅ぼしたりしてそのダイナミズムに感動していると、どこからか視線を感じた。

部屋を見回すが、狭い屋根裏部屋にはもちろん誰もいない。天窓を見上げる。視線はそこから届いているような気がしたのだ。もちろん何もいるはずはなく、見えるのは雲一つない青空。でも。四角く切り取られた空が作り物めいて見えるのはなぜだろう。

箱庭。

.....まさか、ね。

(2010.12.1)

ぽーん、というチャイムとともに、エレベーターのドアが開く。
無人のエレベーターに乗り込んだとき。

ビーッ！

警告音。続いて女性の声でガイダンスが。

「満員です。最後に乗った方は降りてください」

え……？ 私しか乗ってないんだけど……どうということ？ 故障？

すると。空気がふわりと動いて頬を撫でた。そう、何かが、私の横をすり抜けてエレベーターを降りていったような。そして警告音とアナウンスがぴたりと止まった。

……今の、何？

(2010.12.3)

きれいな目玉

ある日、きれいな目玉を拾った。

こんなにきれいな目玉なら世界がとても美しく見えるに違いないと思って自分の目玉と取り替えてみた。

でも世界は何も変わらなくて、鏡に映した自分の姿だけがとてつもなく醜くなっていた。

悲しくなったので取り替えた目玉を元に戻すと、拾った目玉はピンクの煙になって消えてしまった。

(2010.12.26)

遅れる時計

今日は風が強いね。空を見上げれば、雲の流れも速い。

空の時計は今日、ずいぶん針の進みが速いみたい。

それに、今日はみんな歩くの速いなあ。何をそんなに急いでるの？ みんなの時計の針も進むのが速いんじゃない？

.....あれ？

もしかして時計の針が遅れているのは、わたしがし... ..？

(2010.12.26)